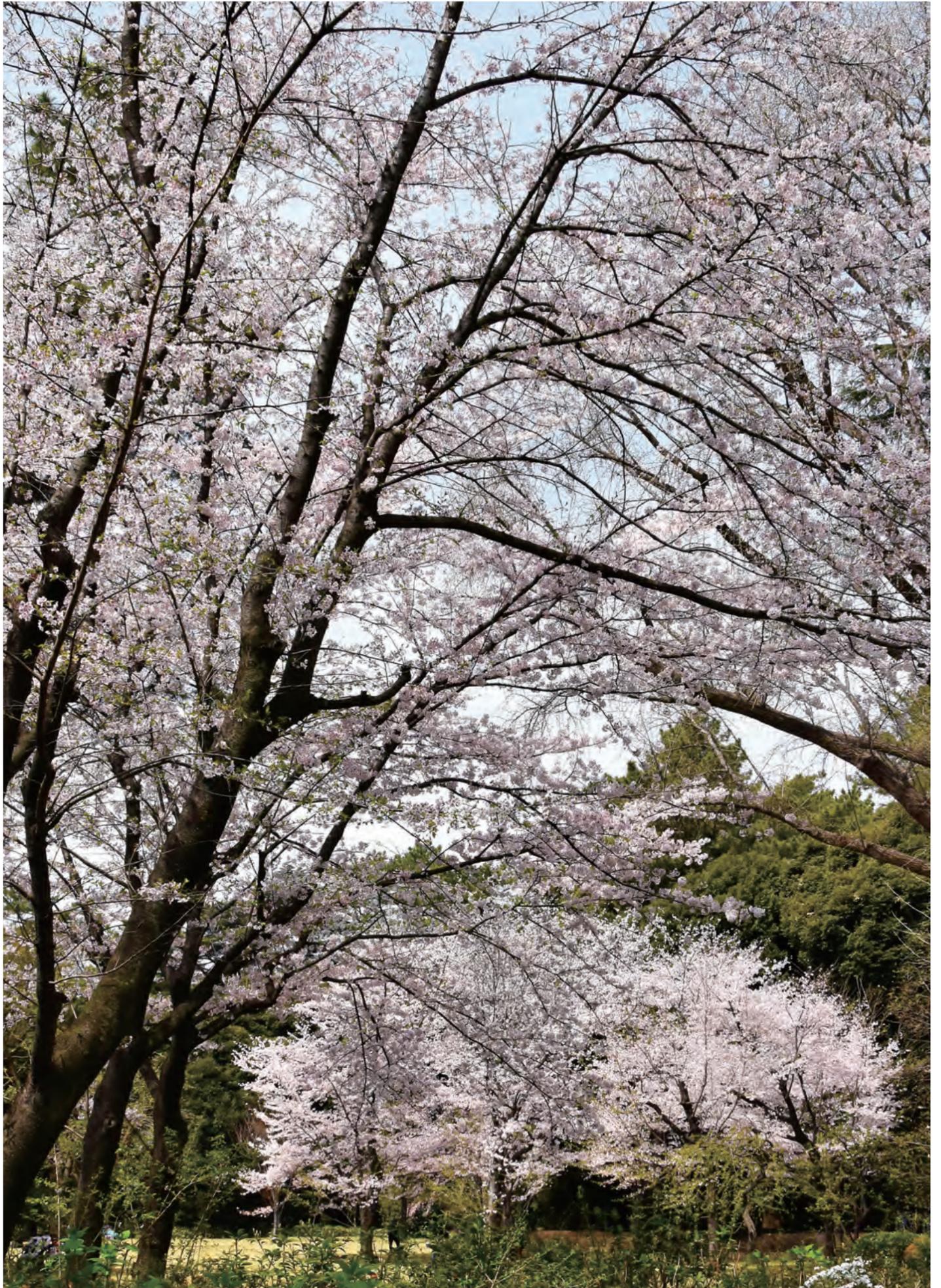




東京都庭園美術館のワシントン桜

ワシントンのポトマック河畔の桜並木は、ワシントンの名所の一つで花が咲く季節には大勢の人で賑わいます。ワシントンの桜、実は1912年に東京市（今の東京都）が寄付した3000本の苗木が成長したものです。桜の苗木が逆にワシントンから東京に贈られ、数本が東京都庭園美術館に植えられました。苗木が今、こんなに大きくなっています。日米交流のあかしですね。



東京都庭園美術館 (写真/松島 文/安藤)

CONTENTS

P2 変わりゆく街白金一丁目エリア
記憶に残したいレトロな風景／古川さくら児童遊園

P3 この街にこの人あり
まつばら まさこ
松原真紗子さん(龍源寺 寺庭・裏千家 茶道教授)



P4/5 地域のあしあと
興意親王と七本槍の武将たち

P6 地域の活動
ヴォーカルユニット「REAL VOX」
少年野球チーム「高輪クラブ」



高輪クラブ

P7 わがまちの保育園紹介
区立伊皿子坂保育園／ゆらりん白金保育園 (私立認可保育園)

P8 区からのお知らせ

変わりゆく街 白金一丁目エリア

再開発計画が目白押しでこれから大きく変わろうとする白金一丁目。かつては工場の職人たちで賑わっていた「昭和レトロの街」が少しずつ消えようとしています。そんな街を少しでも記録に残そうと取り上げました。古い街と新しい街が混在している白金一丁目エリアです。

記憶に残したいレトロな風景

近年、Z世代（1990年代半ば～2010年代序盤ごろに生まれた世代）を中心に、「昭和レトロ」ブームが続いていますね。

昭和レトロとは、昭和を懐かしむまたは憧れる思いです。高度経済成長期の明るい未来に向かってつき進む世相が、現在と比べてまぶしく感じられるからかもしれません。

また、デジタル処理にはない人の温かみを感じられる広告や、色鮮やかなクリームソーダの写真うつりがよいことからSNSで発信されブームになっています。

再開発が進む白金一丁目エリアにも、「昭和レトロ」を感じさせる貴重な風景がいくつかあります。なかでも一番感じさせるのは白金一丁目にある四の橋市場です。現在、八百屋さん（大川青果）と鶏肉屋さん（鳥彦）の2店が営業しています。残念ながら再開発でこの建物はなくなってしまうそうです。お店の移転先はまだ決まっていないそうです。



「いらっしゃい」と元気な声で新鮮な野菜を販売する八百屋さん（2代目）。



約55年前から営業している鳥彦（2代目）。鶏肉だけではなくお惣菜も人気です。毛筆の宣伝文は先代からのもの。



旧



四の橋市場入口

古川さくら児童遊園

令和5（2023）年2月1日に開園した古川沿いの「古川さくら児童遊園」をご紹介します。この児童遊園は、白金一丁目東部北地区第一種市街地再開発事業により整備されました。

● 児童遊園の特徴

「子どもが創意工夫しながら遊べ、地域とつながる児童遊園」をテーマに、遊びゾーン、休憩ゾーン、散策ゾーンの3つのゾーンに分け、以下の5つのコンセプトに基づき整備しました。

- 1 異なる年齢の子ども達が創造して遊ぶ場
- 2 地域の方々が憩い、集う場
- 3 潤いと魅力ある水辺空間
- 4 安全・安心な空間
- 5 防災機能の強化

● 児童遊園の概要

面積は500㎡、施設はマウンド遊具、ミスト、防災トイレベンチ、かまどベンチ、パーゴラ（格子状の屋根）、水飲み、時計塔、埋設照明、園灯などがあります。

遊びゾーンには、2つのマウンド（築山）があり、子どもが上り下りできる遊具があります。ボタンを押すと、ミストが噴出し、夏の暑さを和らげてくれます。

休憩ゾーンには、四方にベンチを配置し、大人も休息、休憩ができます。防災トイレ機能や



古川さくら児童遊園

かまど機能を持つベンチもあります。

散策ゾーンには古川沿いに桜が植えられ、古川沿いの散策を楽しめます。さらに、ドウダンツツジ、アジサイなどが植えられ、季節ごとに散策を楽しめるようにしています。

本児童遊園は、近隣の7町会及び4つの保育園を対象に懇談会を開いて意見をうかがい、設計に取り入れました。



この街にこの人あり

まつばら まさこ 松原真紗子さん(龍源寺 寺庭^{*}裏千家 茶道教授)

※寺庭…住職あるいは前住職の配偶者

臨済宗妙心寺派 龍源寺 前住職、松原哲明^{てつみょう}氏の妻

プロフィール

1945年 鎌倉 円覚寺雲頂庵に生まれる
1965年 龍源寺の前住職 松原哲明に嫁ぐ。龍源寺で、茶道教室を始める。第16世 松原泰道は義父にあたる
2000～2019年 港区三田地区の民生委員・児童委員(以下、ここでは「民生委員」と言う)として、活動に従事する
2005年～ 慶應義塾大学の茶道部「慶茶会」で、お茶の指導をする
2009年 料理の本「お寺の奥さんがつくるおかず」が、大和書房から発行される
2014年 料理の本「お寺の常備菜とおかず」が、大和書房から発行される
2018年 宝島社の本「素敵なおの人のシングルライフ」に、掲載される
真紗子さんのライフスタイル、お気に入りのものなどが、4ページにわたって紹介されている



「お寺をお守りしながら、茶道を約50年教えています」

龍源寺は、白金高輪駅から徒歩約8分、古川橋の裏手、静かな路地沿いにあります。堀沿いに綺麗に咲いている山茶花を楽しみながら、松原さんを訪ね、お話を伺いました。

●お寺には、いくつかの年間行事もあり、嫁いでから忙しい日々だったでしょうね

鎌倉のお寺で生まれ育ったので、お寺の日々の仕事には、慣れていました。毎朝5時ごろに起床し、堀の外や庭掃除をします。実家でも、料理の手伝いをしていましたが、嫁いでからは、義母(松原静子)から毎日のように習いました。義母は聡明で、しっかりした女性でした。義父は講演や執筆活動で忙しくして、連日、電話や来客がありました。若かったので、いろいろ任されて、大変だったこともあります。今思うと、お茶を教えている時だけが自分の時間、ほっとする時間でした。毎日、7～8人分(義父母、夫、3人の息子、若いお坊さんなど)の料理を作り、お寺の年間行事の際は、10人近い檀家の方々と一緒に、100人以上の料理を作っていました。ここ2～3年料理を出すのをやめていますが、今後は、やり方を工夫する必要があるでしょうね。

●精進料理の本を2冊出されていますが、きっかけを教えてください

私は、料理の先生ではないので、自分で料理の本を出そうと思ったことは一度もありません。北軽井沢に、龍源寺の座禅堂「日月庵」があり、座禅合宿の参加者たちに、いつも料理を出しています。たまたま大和書房の編集者の方が座禅に参加したときに、私が作った精進料理がどれも美味しいとのこと、是非本を出してほしいと依頼されたのがきっかけです。料理は、お寺の行事の際に作っているゴマ豆腐、煮物、大豆の入った茶めし、けんちん汁などで、食材は特別なものではありません。無駄なく、使い切るように心がけています。



好評な精進料理の本

●お寺の庭には、古い樹木が多く、果樹もありますね

庭には、梅、柚子、柿の木があり、沢山実をつけます。義母は毎年、梅干し、干し柿、大根や白菜の漬物を沢山作り、私も手伝っていました。檀家の方で毎年、大根を沢山送ってくださる方がいて、私は今も義母と同様、様々な漬物を漬けています。自分で漬けた漬物は、美味しいですよ。

●茶道は、いつから始められたのですか？

小学生の時に、きちんと始めたのは中学2年生からです。当時は、今みたいにいろいろ習い事がなく、半ば強制的でした。茶道は、かなり長く教えていて、中には40年以上通われている方も数人います。慶應義塾大学の部活動「慶茶会」でも、お茶を20年ほど教えています。以前、慶應義塾大学女子高等学校でも教えていて、その頃は学校の茶室で教えていましたが、手狭になったので、今は龍源寺やリーブラ(港区立男女平等参画センター)の茶室で教えています。学生の皆さんは、春茶会、新入生歓迎会、三田祭などのお茶会に向けて頑張っており、私も楽しみにしています。

●三田地区の民生委員として、長年、活動されました

一人暮らしの高齢者の方を訪ねると喜んでくださり、おしゃべりを楽しみました。反面、訪ねられるのを嫌がる方もいて、対応が難しいこともあります。民生委員の活動は、一人暮らしの方の支えとなり、時として事故を防ぐこともある、大事なお役目だと思います。

●10数年前に、義父母様やご主人が続いて亡くなられ、大変でした

義父と8歳下の義母は仲がよく、義母が亡くなって3週間後に、義父も亡くなりました。101歳で、大往生でした。

主人は玄宗三蔵法師の探究者で、本も数冊出しています。研究、調査などで、中国やキルギスなどへ100回近く訪れていました。義父が亡くなった翌年、



義父母と一緒に龍源寺の庭で

急な病で突然亡くなり、私もその2年余りは、3人の見送りをするので必死でした。でも、3人の息子がいて、長男の信樹が龍源寺の住職となり、次男の覚樹は臨済宗 佛母寺(千葉県)の住職となり(米・コーネル大学東アジア研究所研究員で、アメリカと日本を行き来して活動中)、三男の行樹は円覚寺の仕事をしていて、3人とも、禅宗の伝道活動に携わっていて、ありがたく思っています。

●ご実家のお母様の最期もみとられました

鎌倉にいた母が95歳となり、引き取って、10年近く一緒に暮らしました。日頃、実家をあまり訪ねることができなかったので、母の晩年、一緒に出かけ、世話をすることができ、本当によかったです。

●運動は、何かされていますか？

毎朝、庭に出て、ラジオ体操をしています。あとは、よく歩くようにしています。以前は、芝の東京タワーまで往復歩くこともありましたが、最近は近いところを歩いています。



六地藏尊

戦後、檀家(石材屋)の方から寄進されたものです。自然石に6体一緒に彫られたお地藏様は、珍しいとのこと。

境内にある龍翔院観音堂
水月観世音菩薩像が祀って
ある(ご開帳は毎月18日午
前10時～正午)



参考事項

龍源寺 港区三田5丁目9-23
臨済宗妙心寺派の寺院で、江戸時代前期に創建され、麻布今井村を経て、1698年に三田に移転。18世紀前半中津藩(大分県)藩主奥平昌成により中興される。

第16世 松原泰道(2009年ご逝去)

昭和47(1972)年出版の「般若心経入門」(祥伝社刊)は、記録的ベストセラーとなり、その著書は100冊を超える。
第23回仏教伝道文化賞受賞

興意親王

天正4 (1576) 年10月12日～元和6 (1620) 年10月7日
安土桃山・江戸時代前期の皇族。正親町天皇の孫、誠仁親王の第五皇子。
後陽成天皇の同母弟。今の皇室は誠仁親王の子孫に当たる。

この時代、戦乱のため、朝廷の権威は弱まり、皇室の儀式は顧みられず、皇居の修復はもとより、大嘗祭(※1) さえできないような状況でした。そんな中、織田信長や豊臣秀吉の援助で、皇居の造営・式典の整備がなされました。

正親町天皇は、秀吉に関白の位を授け、(その子誠仁親王は信長の養子となり、信長から二条新御所を献上されています。後年、本能寺の変の時、織田信忠が逃げてくるほど、軍事的にも堅牢なものであったそうです) 誠仁親王が皇位につくことなく35歳で急死すると、その第一皇子が正親町天皇の養子となり、後陽成天皇として16歳で即位し、秀吉に太政大臣と豊臣姓を与えています。つまり、信長や秀吉の力を借りなければ、朝廷も成り立たない



興意親王肖像画(聖護院蔵)

(※1) 大嘗祭……毎年11月にある五穀豊穡や国家安寧を祈る「新嘗祭」の中でも、即位後初めて行う儀式。
(※2) 法親王……出家したのちに、親王宣下を受けた皇子。

ような時代であったということです。

その他の興意親王を含む4人の弟親王たちも、同様に信長や秀吉の養子となり、それぞれ出家し、法親王(※2) となっています。(第六皇子の智仁親王は秀吉の養子となり、関白職を約束されていましたが、後年秀吉の実子鶴松が生まれると廃嫡され、秀吉から天皇への請願により、のちに桂宮家となる八条宮家を創設しました(桂離宮で有名)。

いずれにせよ、興意親王は当時第一級の身分の生まれで、最高の僧籍にありましたが、たまたま「方広寺鐘銘事件」に巻き込まれてしまったのです。その後疑義が解け、元和6 (1620) 年10月にお礼言上のため江戸へ下向し、その地で亡くなりました。親族がみな京都に埋葬されている中、ただ一人高輪に眠っています。



親王墓の宮内庁立て札

① 興意親王墓(医王山広岳院) 高輪1-26

元和6 (1620) 年9月、江戸へ下向。同10月7日、宿舍であった西久保丸山英宗寺(現・広岳院)に滞在中急死された興意親王は、浄瑠璃寺宮と号し同寺に埋葬されました。承応2 (1653) 年、寺地の移動とともに改葬され、現在は月に2回宮内庁が巡回に訪れているそうです。



興意親王の墓

地域のあしあと

興意親王と七本槍の武将たち

宮内庁が管理する皇族の陵墓が高輪地区にあるのをご存知ですか？

東京都内には、多摩陵(大正天皇)・武蔵野陵(昭和天皇)・豊島岡墓地(皇族)と、この医王山広岳院の墓所に隣接する興意親王墓とがあります。正式には「正親町天皇皇孫興意親王墓」と宮内庁の看板が立っています。

興意親王が京都の方広寺大仏殿寺務職に就いていた時に、世にいう「大坂の陣」の原因の一つとなった方広寺鐘銘事件が起こります。寺奉行だった片桐且元、豊臣氏側近の加藤清正・福島正則たちはともに「七本槍」と呼ばれた武将たちです。興意親王と武将たちがこの事件に関わり、やがて巻き込まれていきます。そして、時を経て、ともにこの高輪地区に祀られています。今回はこの歴史が持つ不思議な縁についてその軌跡をたどってみました。

七本槍の武将

戦国時代の天下人、豊臣秀吉には古参の部下がおらず、自身に子がいなかったこともあり、親類縁者の子らを集め、夫婦で育て小姓としても使っていたといえます。

ここに名前がある、片桐且元・福島正則・

加藤清正も秀吉子飼いの武将たちでした。長じては、天正11(1583)年、滋賀県長浜市の賤ヶ岳付近で起きた「賤ヶ岳の戦い」で秀吉方についた武将のうち特に功名著しい七人は後世に「賤ヶ岳の七本槍」と呼ばれ秀吉のために大いに活躍しました。



加藤清正肖像画(刀剣ワールド財団(東建コーポレーション株式会社)より)



福島正則肖像画(刀剣ワールド財団(東建コーポレーション株式会社)より)



片桐且元肖像画(「東京誌料」東京都立図書館より)

※上記3武将の肖像画は各寺院に所蔵されていません。

方広寺鐘銘事件

方広寺は京都市下京区にある天台宗の寺院です。今から約400年前、この地で大きな時代を動かす事件が起きました。豊臣秀吉の死後、大きな力を持った徳川家康は、豊臣家の財力を削ぐため、豊臣秀頼に、秀吉建立の方広寺大仏殿の再建を勧めます。秀頼は父秀吉の菩提を弔うため、早速工事を始め、慶長19 (1614) 年4月に無事竣工、供養の日取りまで決まっていたのですが、徳川方からクレームがつかます。秀頼の後見片桐且元を通して、鐘銘の「国家安康」・「君臣豊楽」の二句に疑義あり(※3) として、供養の延期を言ってきました。

時の方広寺大仏殿寺務職であった興意親王にも、棟札銘文に大工頭の名前を入れなかったという疑義がかけられ、親王は職を辞すことになりました。大仏奉行の片桐且元と、加藤清正の文官で、秀頼に頼まれ銘文を草した禅僧・文英清韓が早速大御所家康のいる駿府へ弁明に向かいましたが、相手にもされず、こののち豊臣滅亡へと時代は動いていきます。

この事件の原因となった梵鐘は、明治17 (1884) 年建立の方広寺鐘楼に納められ、現存しています。

数々の災禍に見舞われた方広寺は、江戸時代にも落雷や火災に合い、規模を縮小しながら今もなお賑々と続いています。

(※3) 徳川家康は、「国家安康」は、家康の名を引き裂く呪いの文字であり、一方「君臣豊楽」は、豊臣家を君として楽しむという、豊臣家の繁栄を祈願しているとして激怒。



方広寺鐘楼に現存する梵鐘



方広寺大仏殿跡地

3人の武将及び方広寺に関連した年表

西暦	元号	年	事柄
1556	弘治	2年	片桐且元 誕生
1561	永祿	4年	福島正則 誕生
1562		5年	加藤清正 誕生
1583	天正	11年	賤ヶ岳の戦い (賤ヶ岳の七本槍)
1589		17年	豊臣秀吉により、方広寺大仏殿造営完了(大仏奉行 片桐且元)
1596	文禄・慶長	5年/元年	慶長伏見大地震により大仏が倒壊
1598	慶長	3年	豊臣秀吉 没(62歳)
1600		5年	関ヶ原の戦い
1602	慶長	7年	豊臣秀頼による大仏建造工事中に出火し全焼
1609		14年	豊臣秀頼 徳川家康の勧めで方広寺大仏殿の再興に着手(大仏奉行 片桐且元)
1611	慶長	16年	徳川家康 二条城にて豊臣秀頼と会見(片桐且元、加藤清正が随行)
			加藤清正 没(50歳)
1614	慶長	19年	方広寺大仏殿 竣工 開眼供養、堂供養について徳川家康の了承を得る 徳川家康 方広寺大仏開眼供養の延期を命じる(方広寺鐘銘事件)
			大坂城 落城
1615	元和	元年	片桐且元 没(60歳)
1624	寛永	元年	福島正則 没(64歳)

③ 龍溪山源昌寺

高輪1-23-28 (片桐且元)

片桐且元は、賤ヶ岳の七本槍の一人として武勲を立て、長じては豊臣家の家臣として荒廃していた多くの寺院の再建に努めました。秀吉亡き後は、かつての主君浅井長政の娘・淀君と孫・秀頼を支え、豊臣家存続のために徳川と豊臣の連絡役として奔走しました。しかし、方広寺鐘銘事件の後に豊臣家を離れ、大坂の陣では砲撃隊として徳川方に参戦し、大坂城落城から龍溪山源昌寺は、芝区誌によると慶長10

④ 平等山正覚院

三田4-11-26 (福島正則)

幼少から豊臣秀吉に仕えた福島正則は、賤ヶ岳の戦いにおいて七本槍の筆頭として大功を立て、その後も豊臣家家臣として数々の武勲をあげた後、関ヶ原の合戦では東軍に参戦し、その戦功により49万余石の大封を得て広島城主となった勇ましい武将です。そのかたわら、領地の石高見直しを行って農民の負担を少なくし、河川を開削して流通の向上を行い、熱心に寺社を保護するなどの善政を敷いた大名でした。

平等山正覚院は、寛永元(1624)年に福島正則の四男正利を開基とし、快翁玄活和尚を開山として創建された後現在の地に移りました。

高台にある境内には、福島正則と正利を供養する五輪塔があり、歴代の住職とその家族により手厚く祀られています。



平等山正覚院の五輪塔(右側が福島正則、左側が四男正利の供養塔)

② 最正山覚林寺(清正公)

白金台1-1-47 (加藤清正)

戦国時代の武将加藤清正は、幼いころから遠縁にあたる豊臣秀吉に仕え、秀吉子飼いの家臣として数々の武功を上げていました。天正11 (1583) 年の「賤ヶ岳の戦い」では敵将を打ち取り秀吉より「賤ヶ岳の七本槍」の1人としてたたえられました。

秀吉の朝鮮出兵(文禄・慶長の役)の際、清正は朝鮮王族出身の幼子を伴って帰り、熊本で大切に養育しました。その子は、長じて出家し日延と号し、安房国誕生寺の貫首(※4) となりました。寛永4(1627)年、仏教の修行を積んだ日延は江戸に来て、寛永8(1631)年、この地に覚林寺を開きました。

日頃から清正公に育てられた恩義を感じ、公の遺徳を偲んでいた日延は、清正公の守護仏である釈迦牟尼仏を本尊とし、さらに清正公をも一緒にお祀りしました。

毎年5月4日、5日に、清正公大祭が行われ、今なお多くの人でにぎわっています。



最正山 覚林寺(清正公)

(※4) 貫首……各宗諸大寺の住職

(1605)年に六番町に創建、寛文8 (1668)年に三田樹木谷(現在地)へ移転、片桐且元が中興の開基であるとされていますが、片桐且元の次男孝利が中興したという説も伝わっています。

境内には片桐家の五輪塔2基が手厚く祀られています。



片桐家の五輪塔



- 参考文献
1. 東京市史稿 御墓地編 三田図書館蔵書
 2. 朝日日本歴史人物事典 朝日新聞社
 3. 日本史総合辞典 東京書籍
 4. 国書人名辞典 第2巻 岩波書店
 5. 国史大辞典 吉川弘文館
 6. 日本人名大事典2 平凡社
 7. 港区史 昭和35年版上巻
 8. 賤ヶ岳七本槍 毎日新聞社
 9. 人物叢書 片桐且元 吉川弘文館
 10. 別冊歴史読本 豊臣一族のすべて 新人物往来社
 11. 向上 第四号(慶應義塾大学 向上會) 正覚院
 12. 方広寺跡発掘調査広報発表資料 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

音楽
グループ

ヴォーカルユニット「REAL VOX」

令和元(2019)年より港区観光大使に就任した、4人組ヴォーカルユニット「REAL VOX」を高輪区民センター音楽室で取材しました。



ステージ演奏

定です。

◎4月1日(土) 6町会(松ヶ丘会、高輪一目アパート自治会、高輪台町会、高輪二本榎町会、高輪一目君友会、伊皿子睦会)と高輪子ども中高生プラザ主催の「高松桜まつり」に出演する予定です。

◎8月27日(日) 高輪区民センターでの単独ライブ「REAL VOX Special LIVE 2023」を開催予定です。

●読者の皆様へ

皆様の、まちのイベントに登場させていただくこともあると思います。これからも、区民の皆様と共に、港区の魅力を積極的に発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします！



●高輪地区との関わりは?

年に1回、高輪区民センターで、単独ライブを行います。昨年「高輪地区まつりfeat. Takanawa Gateway Fest 2022」に出演しました。

●結成のいきさつは?

港区文化芸術フェスティバルに出演経験のあるメンバーで平成30(2018)年に結成。「リアルな声を届けたい」という思いで「REAL VOX」というユニット名をつけました。

VOXはラテン語で声という意味です。

●どんな活動をしていますか?

港区観光大使として区内の様々なイベントに参加して、歌とパフォーマンスを通して港区の魅力を発信する活動を続けています！

また「子どもたちにも経験と感動を」が活動テーマのひとつで、一緒にステージを盛り上げてくれる専属コーラス・ダンスグループ「P☆STARS(ピースターズ)」も結成しています。令和4(2022)年のMINATOシティーフマラソンでは公式テーマソ



MINATOシティーフマラソン会場にて



取材中の様子

ング「走れ! Victory」、「Happy Smile Again」をP☆STARSの子どもたちと一緒に披露して、盛り上がりました。

その他にも盆踊りソング「きらきらりん」など幅広いジャンルの曲を歌っています。カラオケ配信されている曲もあるので、皆さんで歌っていただけたら嬉しいです！

●ユニットの夢は何ですか?

港区から紅白歌合戦に出場することが夢で、毎年メンバーは大晦日の予定を空けています！

●令和5(2023)年の活動状況と予定を教えてください。

◎2月12日 赤坂区民センターホールで「避難訓練コンサート ~REAL VOXの歌のLIVE~」を開催しました。

◎3月21日(火・祝) 国立競技場にて開催される「MINATO×東京2020レガシーイベント」に出演予

地 域 の 活 動

少年野球 チーム

高輪クラブ



低学年チーム



高学年チーム

高松中学校の校庭で元気に野球をしている「高輪クラブ」に取材しました。

低学年チームのプレーを見学しましたが、ライナー性の打球(直線的に低く飛ぶ打球)を打っており、守備もしっかりしていました。大人の草野球より、レベルが高いと感心しました。

監督の佐々木憲雄さんからお話をうかがいました。「創立は昭和44(1969)年と50年以上も伝統あるクラブです。低学年チーム(小学1~4年生)と高学年チーム(小学5,6年生)に分かれており、総勢35名のメンバーです。そのうち高輪地区から参加している子どもは半分くらいです。ポスターで募集したり、体験会を何度も開催したりして、子どもたちに入部してもらいます。

練習は土日の月8回で、そのうち4回は朝9時から午後5時まで練習します。指導者は監督2名、コーチ2名です。私は28年間監督を務めています。

合宿は年1回、2泊3日で行います。今年は茨城県鹿嶋市に行き、地元チームと対戦しました。子どもたちが一生懸命、楽しく野球ができればと思っています。

子どもたちや父兄のつながりが強く、卒団した先輩たちも訪れるので、学校生活ではできないしっかりしたコミュニティの絆ができます。

イベントは、6年生を送る卒団式があり、送る方も送られる方も涙、涙の感動です。野球をすることで集中力も増し、大学入試にもよい結果を得る子どもたちも多くいます」。

入会ご希望の方は
ホームページを
ご覧ください。
★高輪クラブ ホームページ



最近の戦績は次のとおりです。

- 令和4(2022)年
- ・港区少年野球軟式野球春季大会 高学年・低学年 優勝
- ・東武杯争奪少年野球大会(春季)(秋季) 低学年優勝
- ・第42回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント東京都予選大会 高学年ベスト16
- ・東京23区少年軟式野球大会 低学年ベスト16



練習風景 高松中学校にて

わがまちの保育園紹介

子育て支援の拠点となっている保育園ですが、それぞれに子どもたちの健やかな環境を考えた特徴があります。
ここではわがまち高輪地区の保育園を紹介します。

区立伊皿子坂保育園 港区認可保育園

- 港区三田4-19-30
- 開設 平成25(2013)年9月

区立伊皿子坂保育園は、泉岳寺駅から徒歩5分ほどの静かな環境の中にあり、定員151名(令和5年3月現在)の大きな規模です。園庭が南西側にあります。

森田園長先生にお話をお聞きしました。「子ども達には、自分で考えて行動できて、思いやりがある人になってほしいと願い、一人ひとりと向き合い思いを汲みとってやりとりすることを大切にしています。

また、子育て支援は、子どもを真ん中に手を繋ぐイメージで各ご家庭に合った対応を心がけています。

園の特徴として、開園当時から和太鼓の活動を取り入れています。年長児が太鼓を叩く姿は、年下の子ども達の憧れです。以前は地域町会のお祭りでも披露していたので、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いたらまた呼んでいただきたいです。

年末にはNHK交響楽団の地域・社会貢献の取り組みで、年長児の親子が招かれてコンサートを楽しみました。地域の皆様にも温かく見守っていただいていることにとっても感謝しています。



披露するのを楽しみに練習を頑張っています



NHK交響楽団の楽団員と一緒に！



園庭には、プレイハウスと伊皿子坂保育園のシンボル、どんぐりの木があります

年末のお楽しみ会を見学しました。

みんながゲームのシールを探し終わった中で、一人だけシールを見つけれない子がいて、一生懸命探しても見つかりません。その時一人の女の子が「●●君のためにみんなでシールを探そう」と言ったら、他の子たちも「オーっ！」と言って、みんなで探し始め、すぐに見つけることができました。

先生に言われたからではなく、自分で考え自信をもって提案し、みんなで取り組む。そんな、大人でもなかなか出来ないことを目の前の子ども達は自然にやっていることに驚き感心しました。

ゆりりん白金保育園 私立認可保育園

ライフサポート株式会社

- 港区白金1-26-10 白金K-FLAT1F、2F
- 開設 平成26(2014)年2月

ゆりりん白金保育園は、東京メトロ「白金高輪駅」から徒歩3分、近くには、クイーンズ伊勢丹などいくつかのお店があり、とても便利な場所にあります。

沓澤園長先生にお話をお聞きしました。「定員50名で、0歳児保育(生後57日から)や、延長保育(18:16~20:15)の受け入れもしています。周囲には公園が多く、天気の良い日は体力作りの一環として、公園に出かけます。幼児クラスは有栖川公園まで行くこともあります。何より安全、安心に留意して、散歩の時は、人数確認や安全確認をこまめに行い、事故を未然に防げるようにしています。

ライフサポート株式会社の方針として、食育を大事にしている、食べることの大切さを日々学ぶこともしています。だしや食材にこだわり、年長児が芋ほり遠足で掘ってきたさつま芋でスイートポテトを作り、十五夜にはお月見団子、節分には恵方巻づくりと、季節に合わせたクッキングを通して、食を楽しんでいます。月に2回、専門講師と英語あそび、

ヒップホップ、体操教室のカリキュラムも行っています。英語あそびでは外国人の先生と簡単な挨拶を楽しんだりしていて、子どもが持つ興味、力を引き出せるような保育を心がけています。

午後の遊びの時間を見学しました。

4つのグループによるジャンケン大会で、3歳児クラスの子も年長さん達にまざって参加しました。どの子も真剣な顔で、勝つと満面の笑みでとても楽しそうでした。アットホームな雰囲気、保育園で一緒に育っているような感じが持てるのではと思います。



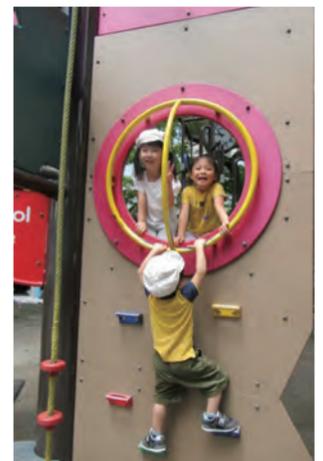
三田台公園にて。タコあげを楽しんでいます



保育園外観



「絵本のコーナー」自由時間に、絵本を楽しむ園児も多く、人気です



高松くすのき公園にて

区からのお知らせ



高輪地区総合支所の公式ツイッターでは、地域のできごとをはじめとした様々な情報を発信中。ぜひフォローをよろしくお願いします！
@minato_takanawa



タウンミーティングTAKANAWA2023メンバー募集!!

- 支所で実施している事業に携わり、メンバーと一緒に考え、活動してみませんか。
- ◇対象 高輪地区に在住・在勤・在学の人、または高輪地区のために活動したい人
- ◇内容 タウンミーティングTAKANAWAのメンバーとしてそれぞれのテーマに沿って高輪地区で活動していただきます。
- ◇任期 1年間(令和5年4月～令和6年3月)
- ◇募集グループ

グループ名	活動内容	募集人数	活動の頻度
1 地域情報紙グループ	高輪地区の地域情報紙「みなとつぶ」の発行に向けて、編集委員として企画・取材・編集を行います。	15名程度	平日夜間に、月1～2回程度(毎月火曜に開催予定) (各号の編集スケジュールによる) ※取材・撮影は、主に昼間に行います。
2 私が語る高輪今昔物語グループ	地域の魅力を発信するため、これまで収集した写真を使用して各メンバーがテーマに沿った高輪の「今昔物語」を制作します。それをもとに、児童館やいきいきプラザなどでの出前講座やまち歩きを実施します。	15名程度	平日夜間に、月1回程度(毎月金曜に開催予定) (土・日曜等にイベントを実施)
3 高輪みどりにつながるプロジェクト	花の育成活動や壁面緑化等に取り組み、緑に対する理解と地域コミュニティを深め、緑化の普及・啓発を行います。	20名程度	平日昼間に月3回程度(会議は毎月1回夜間に開催予定)

※報酬・交通費はありません。※会議の際に一時保育を希望する方は、ご相談ください。

申し込み方法: 希望するグループ名・住所・氏名・年代・勤務先(学校名)・電話番号・FAX番号・メールアドレスを明記し、郵送またはFAXで右記のあて先へ。港区ホームページの応募フォームからも申し込みできます。
※応募多数の場合は、初めての人の優先、年齢バランス等を考慮して抽選します。
締め切り: 令和5年3月17日(金) 必着



私が語る高輪今昔物語グループ



高輪みどりにつながるプロジェクト

あて先・お問合せ先: 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
〒108-8581 港区高輪1-16-25
☎5421-7123 FAX:5421-7626



毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前に確認してください。

区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085

募集予告

令和5年4月1日募集開始

「町会・自治会潜在力向上プロジェクト」地域の「潤滑油」となる講座

講座内容: この講座は、お住まいの町会・自治会で活動する担い手の育成を目的としています。全5回の講座では、お住まいの町会との個別のマッチングを行うほか、地域の歴史や町会・自治会の活動、課題等を学び合います。



定員: 20人程度(申込順)

費用: 無料

講座概要: 5月から11月までの全5回(予定)

※詳細は広報みなと4月1日号、または港区ホームページ(4月1日更新予定)をご覧ください。

お問合せ先: 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎5421-7621

コミュニティ・カフェ高輪

高輪地区CCクラブ、高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センターそして地域の方が協働で運営し、地域の方が自由に参加できるカフェです。高輪区民センター2階展示ギャラリー前では毎月第2・4金曜日13:30～15:30頃まで、ゆかしの杜では6階区民協働スペースで毎月第3金曜日13:30～15:30頃まで、HUG高輪はほぼ毎月第3火曜日にミニ講演会(14:00から)かカフェ(13:30～15:30頃)を、感染症対策をしてオープンします。



地域の方が交流できる場所としてコーヒーを飲み、そしてお話ができる場所ですので気軽にお出かけください。

お問合せ先: 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 ☎5421-7123

自転車の損害賠償保険に加入していますか?

令和2年4月から自転車損害賠償保険等の加入が義務化されました

港区民交通傷害保険【港区で受付を行っている保険】

港区民交通傷害保険は、少額の保険料で加入でき、車両による交通事故でケガをした場合、入院・通院の治療日数と治療期間に応じて保険金をお支払いする制度です。また、自転車運転中の加害事故によって法律上の損害賠償責任が発生した場合に、その損害賠償金や費用を補償する「自転車賠償責任プラン」をセットしたコースは、東京都自転車条例により加入が義務化された保険に対応しています。

※自転車賠償責任プランのみに加入することはできません。

二次元コードをスマートフォンで読み取る、
区民交通傷害保険のホームページをご覧ください。
インターネットでは、4月1日以降も中途加入の申し込みを受け付けます。



【引受保険会社】損害保険ジャパン株式会社

このご案内は概要を説明したものです。詳しくは、損害保険ジャパン株式会社東京公務開発部営業開発課(新宿区西新宿1-26-1)までお問い合わせください。

☎03-3349-9666(平日午前9時から午後5時まで)

承認番号: SJ22-14745 承認日: 2023/1/26

お問合せ先: 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎5421-7621

あなたのまちの町会・自治会でお手伝いしてみませんか

まちの防災、清掃、パトロール、お祭りなどは、町会・自治会が実施しているものが多くあります。お手伝いに興味がありましたら、お気軽にご相談ください。

お問合せ先: 高輪地区総合支所 協働推進課 協働推進係 ☎5421-7621



本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。

みなとつぶ バックナンバー

編集だより

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

区民編集メンバー

安藤 洋一(チーフ)	佐々木 智秋
吉田 由紀子(サブチーフ)	滝川 まりえ
池井戸 晴美	長原 眞智子
伊関 則子	平尾 恭一
	松島 佐紀子

▶地域で活動する音楽とスポーツのグループに取材して元気をいただきました。このようなグループが地域を盛り上げているのですね。これからの活躍を期待します。(安藤)

▶再開が進み変わっていく街並の中、長い間親しんできた建物やお店のたたずまいなど、記憶に残しておきたい風景を少しでも地域情報紙が伝えていけるといいですね。(吉田)

▶白金地区もどんどん変わっていくことに驚きました。一方で、商店街の魅力も実感できました。(池井戸)

▶高輪地区の歴史を見ていくと、いろいろの時代の重なりが感じられます。これが連続と続く歴史そのものだと、実感しました。これからも大事に行きたいです。(伊関)

▶REAL VOX、高輪クラブの取材を担当。いきいきと地域活動されている皆様をご紹介できて、良かったです!(佐々木)

▶やさしい笑顔の松原さん、若い時に歴史あるお寺に嫁がれ、いろいろご苦労もおありだったようですが、長年、お寺を補佐されて敬服です。今はしっかりした3人の息子さん、お孫さんもいらして、穏やかな日々のご様子、お母様のように長寿をめざしてください。(滝川)

▶歴史の1コマとしか捉えていなかった事柄が、今の高輪地域と密接に繋がっていることに驚きました。

また、今回は新しい取材も経験でき勉強になりました。(長原)

▶毎回、取材でお目にかかる方々から色々なお話を伺い、目から鱗の思いをしています。今度はどんな方にお会い出来るか楽しみです。(松島)

MINATO CITY



買い物するなら地元の商店街で